

解答解説

人間はなぜ集団で生きるのか

【解答】

問 1 (1)ア (2)イ (3)キ (4)ウ

問 2 (1)① (2)①

問 3 (A)④ (B)③ (C)④

問 4 知識を共有し、役割を分担するこの能力がなければ、人類の文明はおそらく決して発達しなかっただろう。

問 5 家族や学校、会社などの集団に所属し続けようとする傾向。

問 6 この進化の過程を理解することは、生存がもはや集団への所属に直接依存しない社会においても、人々がなぜ協力を重視し続けるのかを説明する助けとなる。

問 7 ア・ウ

【本文全訳】

人間はしばしば、自分たちを独立した個人であると考え。しかし、進化という観点から見ると、人類の祖先が生き残ることができたのは、最も強い動物だったからではなく、協力することを学んだからである。初期の人類は、危険な肉食動物や厳しい気候、限られた食料に囲まれた環境で暮らしていた。一人で生活する人間は長く生き残る可能性がほとんどなかった。それに対して、集団を作った人々は、食料を分け合い、互いを守り、子どもたちをより効果的に育てることができた。その結果、集団生活は人類史上最も成功した生存戦略の一つとなった。

集団生活の利点は、身体を守ることだけではなかった。初期の人類は言語を発達させ、食料や天候、危険な動物について情報を交換できるようになった。また、すべてを試行錯誤によって発見するのではなく、互いから学ぶようになった。その

ため、知識は世代から世代へと受け継がれるようになった。さらに、異なる技能を持つ人々が協力することもできた。ある者は優れた狩人となり、別の者は道具を作ったり子どもの世話をしたりした。このような協力によって、集団全体が厳しい環境を生き延びる可能性は高まった。知識を共有し、役割を分担するこの能力がなければ、人類の文明はおそらく決して発達しなかっただろう。

多くの心理学者は、現代人の感情もまた、この長い集団生活の歴史によって形づくられたと考えている。人は自然に他者から受け入れられることを求め、集団から排除されると不安を感じやすい。こうした反応は感情的に見えるかもしれないが、研究者は、かつては実際に生存上の価値を持っていたと考えている。集団に受け入れられることは、食料や保護、協力を得ることを意味した一方、拒絶されることは生き残る可能性を著しく低下させた。そのため、人間の脳は、信頼や協力、他者の評価への敏感さを促す仕組みを徐々に発達させた。この進化の過程を理解することは、生存がもはや集団への所属に直接依存しない社会においても、人々がなぜ協力を重視し続けるのかを説明する助けとなる。

現代社会は、人類の祖先が生きていた環境とは大きく異なっている。今日では、一人で生活しても直接命の危険にさらされることは少ない。それにもかかわらず、人々は家族、学校、会社、スポーツチーム、ボランティア団体、オンラインコミュニティなど、さまざまな集団に所属し続けている。研究者は、こうした行動は、進化の歴史が現在でも私たちの考え方や行動に影響を与えていることを示していると考えている。多くの人にとって、集団に所属することは、実際の支援だけでなく、自分が何者であるかという意識や人生の目的も与えてくれる。社会が今後どれほど変化したとしても、こうした傾向は人間の本性の重要な一部であり続けるだろう。

問 1 空所補充

- (1) strategies 該当箇所は *one of the most successful survival strategies*.
one of the + 最上級 + 複数名詞 の形なので
複数形が必要である。survival strategy は
「生存戦略」という重要表現である。
- (2) that 該当箇所は *the chances that the entire group would survive*. the
chance(s) that SV は「～という可能性」を表
す。同格の that が chances の内容を説明
している。
- (3) whereas 該当箇所は *access to food, protection, and cooperation, whereas being rejected...*. whereas は「一方で」「これに対して」を表す接続詞である。受け入れられる場合と拒絶される場合を対比している。
- (4) way 該当箇所は *the way people communicate*. the way S V は「S が V する方法」という重要表現である。「人々がコミュニケーションをとる方法」という意味になる。

問 2 文法・用法

- (1) that の用法
正解は ①。本文の *it is through belonging to such groups that...* は *It is ~ that ...* の強調構文である。「人々が実際の支援や帰属意識を得るのは、まさにそのような集団に所属することを通してなのである」という意味になる。①も *It was in Africa that...* という強調構文で同じ用法である。②は同格の *that*, ③は名詞節を導く接続詞, ④は *so ~ that* 構文である。
- (2) belonging の用法
正解は ①。本文の *belonging to a group* は文の主語として用いられている動名詞である。①の *Learning from others* も文の主語と

なる動名詞で、同じ用法である。②は現在分詞の後置修飾, ③は分詞構文, ④は現在進行形の一部である。

問 3 動詞・品詞の形

- (A) to exchange 該当箇所は *allowing them to exchange information*. allow A to V「A が V することを可能にする」という重要語法である。目的語の後には to 不定詞が続く。
- (B) surviving 該当箇所は *prevent people from surviving*. prevent A from Ving「A が V するのを防ぐ」という重要構文である。前置詞 from の後ろには動名詞が置かれるため surviving が正しい。
- (C) to remain 該当箇所は *is likely to remain*. be likely to V は「～しそうである」「～であり続ける見込みである」という重要表現である。likely の後ろには to 不定詞が続く。

問 4 下線部(1) 和訳

模範訳

知識を共有し、役割を分担するこの能力がなければ、人類の文明はおそらく決して発達しなかっただろう。

解説

文の骨格は *Without this ability, human civilization would probably never have developed*. である。*Without A* は仮定法でよく用いられる表現で、「もし A がなければ」に相当する。後半の *would have developed* は仮定法過去完了で、「(実際にはあったが)もしなかったなら、発達しなかっただろう」という過去の事実と反する仮定を表している。*this ability* は直前の *share knowledge and divide responsibilities* を指し、「知識を共有し、役割を分担する能力」という意味である。

問 5 指示語問題

模範解答

家族や学校など様々な集団に所属し続けようとする傾向。

解説

this tendency は直前の they continue to join families, schools, companies, sports teams, volunteer organizations, and online communities を受けている。つまり、人間が現代社会でも家族や学校、会社など様々な集団に所属し続けようとする傾向を指している。設問は 30 字以内なので、本文中の具体例をすべて列挙する必要はなく、「様々な集団に所属し続けようとする傾向」までまとめられていれば十分である。「集団への所属を求める傾向」「集団に所属し続けようとする性質」なども適切な解答となる。

問 6 下線部(3) 和訳

模範訳

この進化の過程を理解することは、生存がもはや集団への所属に直接依存しない社会においても、人々がなぜ協力を重視し続けるのかを説明する助けとなる。

解説

文の骨格は Understanding this evolutionary background helps explain why people continue to value cooperation... である。Understanding は動名詞で主語、「この進化の背景を理解すること」という意味になる。helps explain は「説明する助けとなる」という重要表現である。why 以下は explain の目的語となる間接疑問文で、「なぜ人々が協力を重視し続けるのか」という内容を表す。後半の even in societies where survival no longer depends directly on

belonging to a group は societies を修飾する関係副詞 where を含む形で、「生存がもはや集団への所属に直接依存しない社会においてさえ」という譲歩的な意味を表している。

問 7 内容一致

正解 ア・ウ

(ア) 正しい

【選択肢の和訳】

本文は、協力によって初期の人類は知識を共有し、役割を分担し、集団全体の生存の可能性を高めることができたと述べている。

【該当箇所】

share knowledge and divide responsibilities

Such cooperation increased the chances...

【解説】

本文では、知識の共有・役割分担・協力によって集団全体の生存率が高まったことが説明されている。選択肢は本文の内容と一致する。

(イ) 誤り

【選択肢の和訳】

本文によれば、技術の発達によって、人間が社会集団に所属したいという欲求はほぼなくなった。

【該当箇所】

it has not eliminated the human desire to cooperate with others

【解説】

本文は、科学技術が発達しても、人間の協力したいという欲求は失われていないと述べている。選択肢は本文と正反対である。

(ウ) 正しい

【選択肢の和訳】

2026 年度対応 神戸大学予想問題

本文は、集団から排除されることへの恐れは、かつて排除されることが生存の可能性を低下させていたために発達した可能性がある」と説明している。

【該当箇所】

being rejected could seriously prevent people from surviving

【解説】

本文では、集団から拒絶されることは生き残る可能性を著しく下げたため、現代人にもその心理的傾向が残っていると説明している。本文と一致する。

(エ) 誤り

【選択肢の和訳】

筆者は、初期の人類は、他の動物より身体的に強かったために生き残ったと主張している。

【該当箇所】

not because they were the strongest animals but because they learned to cooperate

【解説】

本文冒頭では、「最も強い動物だったからではなく、協力を学んだから生き残った」と明確に述べられている。本文と逆の内容である。

(オ) 誤り

【選択肢の和訳】

本文によれば、人類は協力しなくても生きられるようになってから初めて言語を発達させた。

【該当箇所】

*Early humans developed language...
They also learned from one another...*

【解説】

本文では、初期の人類は協力しながら生活する過程で言語を発達させ、知識を共有するようになったと説明している。協力が不要になった後に言語が発達したとは述べられていないため誤りである。